

## 統計表の利用上の注意

- ① 本調査は、調査結果を分析するために、世帯が所有する空き家（法人や団体等が所有する空き家は含まれていない）の種類を集計区分に該当する世帯数や住宅戸数を拡大推計したものである。  
ただし、あくまでも集計区分相互の比率を求めるための推計値であり、推計された実数を使用することは想定していない。  
また、本調査の対象には複数の種類の空き家を所有する世帯は含まれていないため、当該世帯が含まれている令和5年住宅・土地統計調査の空き家の種類に係る統計表の集計区分とは一致しない。
- ② 本調査における「所有している」とは、登記の有無にかかわらず、固定資産税を納付しており、現にその住宅を所有している場合、または、相続の手続き中の住宅がある場合をいう。  
また、対象の空き家は、所有者が状況をよく知っている住宅1戸である。
- ③ 本調査は、空き家の利用状況、管理状況等の客観的データ、所有者の意識・意向等の主観的データを集計しており、各統計表の単位は、客観的データを「戸」、主観的データを「世帯」と表章している。  
その数値は、四捨五入して「千戸」または「千世帯」までの概数にしているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
- ④ 本調査結果のうち、「所有世帯の家計を主に支える者の年齢」、「所有世帯が居住する住宅」、「空き家の種類」、「所有世帯の年間収入」、「所有世帯の子の住んでいる場所」、「所有世帯が居住する住宅の延べ床面積」、「所有世帯が居住する住宅の建築時期」については、令和5年住宅・土地統計調査の結果を独自集計している。  
なお、集計結果には、令和6年空き家所有者実態調査の調査事項と令和5年住宅・土地統計調査の調査事項が論理的に整合しない回答が含まれている場合がある。
- ⑤ 統計表中に使用されている記号等は、次のとおりである。
  - ・「-」は、該当数値がないもの又は数字が得られないものを示す。
  - ・「0」は、集計した数値が表章単位に満たないものを示す。
- ⑥ 表題中の「基本属性」とは、市区町村の属性（4区分）、建て方（3区分）、構造（4区分）、建築時期（9区分）、延べ床面積（6区分）、取得方法（8区分）、居住世帯のない期間（10区分）、腐朽・破損の状態（4区分）、主な管理者（6区分）、管理の頻度（5区分）、利用状況（10区分）、所有世帯の家計を主に支える者の年齢（5区分）、所有世帯が居住する住宅（3区分）、所有世帯の居住地からの所要時間（4区分）、最寄りの鉄道駅からの距離（5区分）、空き家の種類（4区分）の計90区分を示す。
- ⑦ 基本属性の市区町村の属性の「大都市圏」とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県を示す。
- ⑧ 集計項目に応じて集計対象を限定して表章している。  
（例）「管理の頻度」は、「主な管理者」がいる世帯のみ表章している。